

平成 28 年度 夏休み明け全校集会 挨拶

H28.8.26

おはようございます。あつという間に終わったというのが正直な気持ちですか？この夏休みは、どうでしたか？夏休み前のこの集会の時に、校長先生が言った内容を覚えていますか？

言える人はいますか？校長先生が担任した子どもで、九州北部豪雨で亡くなった人のことを新聞記事とともにお話ししました。最後に、命を大切にしてください。友だちを大切にしてくださいとお願いしました。

思い出しましたか？

さて、夏休みの間、自分の命を大切にしてお過ごせましたか？実は、先日学校で禁止されている 501 号線を自転車で乗っている人を見ました。校長先生に注意されました。

今、「自分のことだ！」

と思っている君、ちゃんと守っていた君も、なぜ禁止になっているのかを考えてください。

501 号線は、どうしても交通量が多いです。自転車のゾーンもありません。大型ダンプカーやバスも頻繁に通ります。そんな道を、まだまだ運転が未熟な君たちが自転車で走るということは、ライオンの檻の中に肉をもってはいるのと同じようなことなのです。

つまり、君たちの命を守るために、501 号線は自転車で乗ってはいけませんというルールがあるのです。

ルールやきまりは、君たち一人一人や周りの人たちを守るためにあったり、みんなが気持ちよく過ごせるためにあるものですよ。そここのところをしっかりと考えて、夏休み明けから頑張ってください。

さて、今日はもう一つお話をします。夏休み期間中に世界的な大きな行事がありました。何でしょうか？そう、リオデジャネイロオリンピックですね。世界中の人の目がリオデジャネイロに集まっていましたね。次は、4年後に東京で開催されます。

そのオリンピックを前にして、日本には、世界中の人たちから尊敬される考え方があります。今からお話しする考え方もその一つです。

「うかつあやまり」という考え方です。その話を読みますね。

電車がぐらりと揺れた。

あつと思ったときはもう遅い。

靴を思いっきり踏まれてしまった。

さて、あなたならどうする？

相手を見据えて「アイタッ！痛いな。なんしよっとや！」

それとも

優雅に「とんだところへ足を出していて失礼」

本音を言えば、優雅にいきたいところだが、なかなか難しい。言葉に迷う。

ところが、江戸では踏まれても先に謝れといった。「うかつあやまり」という。

「けんか腰になって、トラブルを起こしたくない」

という意味もある。

それに加えて

「自分がうかうかしていたから足を踏まれた」と危機管理ができていない自戒の意味があった。

自分が悪くないのになぜ謝るのか？

足を踏まれたとき、外国では「私の足が大きくてごめんなさい」というセリフがあるそうだ。ここにも大人の知恵がある。

足を踏まれたのに、踏んだ人に対して、
「こんなところに足を出していた私が悪うござんした。」
と謝るという話です。

江戸では、そういう教えがあったそうです。どうですか、これなら売り言葉に買い言葉で喧嘩にはなりませんね。

人のことを悪い方に見ないで、自分を振り返ることを先にして、互いを尊重し合って豊かに暮らせると良いですね。

しばらくは暑いかもしれませんが、頑張りましょう。これで話を終わります。